

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月18日(木) 成田公民館 No.1

No.	項目	質問要旨	回答要旨
1	会館予定地について①	成田6丁目に「会館予定地」があり、いまだに更地のままとなっています。今年の春に測量をしていたので、近所の方が測量をしている方に確認したところ、住宅が建つ予定だということでした。市からは公式に説明がないものですから、今後どのような形になるのかお聞きしたいと思います。	市内に公共用地が点在していますが、行政改革の一環で、市有地を売却などによって有効活用を図るため、具体的にどれぐらいの価値があるかを調べるため、昨年度、何か所かの土地を調査しております。今後、具体的にどう活用するのか、検討していきます。少しでも有効活用できればと考えていますし、どのような活用を行うかについては、その都度、説明会を開催することとしております。
2	会館予定地について②	会館ができるということで土地を買い求めましたので、実際に会館を建てるに当たって見直しもあったと思いますが、変わった経緯や建てられない理由について、説明いただければと思います。	会館用地は、新しい町内会ができれば、会館を建てるということで保留しておりましたが、今後も新しく町内会が設立される予定がないという見通しでしたので、このままであるよりは、有効活用を図りたいということで、行政改革の一環でスタートしました。
3	会館予定地について③	宅地計画をする際に、ここに集会所を作るという計画をしたと思っていますが、計画をした市が別の有効活用をするということは良いのでしょうか。	最近ですと、開発した後どのように町内会を設定するかといった詳しい計画をした上で、土地利用に反映させていますが、以前の計画ですと、そのような具体的な計画がない中で、開発者が独自に判断して集会所用地が計画される場合もありました。 成田地区については、丁目ごとに町内会ができるという想定の下に会館用地が設定された経緯があります。実際には3つの行政区に分かれて、会館は3つ建設されています。残りの土地については、今のところ、具体的な会館の建設は計画されておられませんので、今後も今の状態が続く可能性があることから、市は、土地の有効活用を図るべきと判断しております。
4	会館予定地について④	成田2期工事が始まると、成田小の児童が増え、成田東小の児童が減少していくというときに、学区の見直しと町内会の線引きも検討しなければならないのではないかと考えががあります。最終的に会館予定地があるとかいらぬというのは、成田の2期工事が終わると、成田の全体像がハッキリするわけですから、それから検討されても遅くはないのではないですか。	行政区として、お話しいただいた内容について、今後可能性があるのであれば、その際には会館の建設が伴いますので、会館予定地として残さなければならないと思います。

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月18日(木) 成田公民館 No.2

No.	項目	質問要旨	回答要旨
5	学区の見直しについて	成田2期工事の部分が何丁目になるか分かりませんが、学区はどのように考えていらっしゃるのですか。	今後については、実際に宅地が造成されて、家の建設が始まり、入居し、学校への転居手続きが済んで、入学するということになります。それまでには準備期間がありますし、今の段階では予測できないのが実情です。どれほどの進捗で家が建設され、子どもが転入してくるか、もう少し具体的に見えてこない、学校の方もそこまでは対応できないということになります。
6	(仮称) やすらぎパークとみやについて	富谷で18ホールのパークゴルフ場を作っても、誰も来てはくれないと思います。18ホールであれば、お止めになった方が賢明だと思います。	大きな大会などは近隣の施設を利用いただき、富谷の施設は、地元の方々が身近に健康増進や家族で楽しめるパークゴルフ場としたいと考えています。 なお、近隣市町村を確認して、18ホールでも利用料で維持管理費を賄えるという調査も取っております。
7	まちづくりについて	コンパクトシティのあり方というのは、地域の中で「ヒト・モノ・カネ」を流通・循環させるという考えでない、なかなか成熟していかないということを過去に聞いたことがあります。 そういう観点からもこの地域、成田でも富谷でも、大きく考えて黒川でも良いので、その地域で物事を考え、ぜひ、若い人の活用をこれからどんどん考えて欲しい、それと女性の活用を考えて欲しいと思っています。	人づくり、特に若い、未来を担う方々の育成というのは大事だと考えております。とみふらで行っている「富谷塾」では、塾生にも若い女性の方が多数いらっしゃいます。その方々を核として、いろいろな地域で、いろいろな形で、富谷のまちづくりに参画していただけるよう呼びかけをまいります。
8	女性の登用について①	市役所では女性が何人ぐらい働いているのか、また、男女の比率を教えてください。	職員数は約350人です。男女比は、ほぼ半々となっています。外部の審議会や協議会での女性の構成比率は高く、全国でも上位4番目となっています。
9	女性の登用について②	市役所では多く女性を見ますが、今日の出席者には男性しかいませんので、女性は部長にはならないのでしょうか。適材適所も分かりますが、チャンスがあるのであれば、目に見えるようにして欲しいなと思います。	現在女性の管理職は約3割となっております。女性の管理職への登用というのは、就任してから意識をしており、女性の視点、活躍の場というのは大事にしていますので、段階的に進めていきます。
10	成田東公園について	成田東公園を利用しますが、子ども達もたくさん遊ぶようになりました。それと同時に、サッカーや野球などをしていて、普通に公園で楽しんでいる人たちが、ちょっと危なかった面もでております。せっかく広い公園ですので、奥の方にサッカーゴールを付けていただければ、安心して公園を利用できるようになりますので、大きな公園では、遊ぶところと休むところの区別をつけて整備をしていただけないかという思いがあります。	成田東公園については、整備した当初、広場にサッカーゴールがありましたが、サッカー場としての申込が多く、周辺に車を止める方が多くなったため、周辺の皆様に大変ご迷惑をお掛けしことから、撤去した経緯があります。 子ども達がそのような遊び方をしているということですので、正式なサッカー場に戻すということは難しいですが、子ども達が遊ぶのに必要な施設の設置については、町内会のご意見も伺いながら、検討させていただきたいと思っております。

平成30年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月19日（金）西成田コミュニティセンター No.1

No.	項目	質問要旨	回答要旨
1	しんまち地区の景観について	今年、第1回目の街道まつりが開催されましたが、しんまち通りを歩く中で、もっと街道らしい古式豊かな建物があっても良いのではないかと思います。しんまち地区に新築される方に対して、街道らしい雰囲気を作るために助成金を出すという制度はありますか。	これからは、そのような制度を作っていないと、あの場所の面影を残していけないのではないかと考えておりました、国の補助メニューを探しているところです。貴重な建物も残っておりますので、それが無くならないうちに、守れるようにしていくということと、面影をどうやってもう一度復活させられるかということで、開宿400年に向けて、国の交付金を活用して、宿場町しんまちの雰囲気を残せるような施策を検討しているところでございます。
2	成田地区の開発について	成田2期の工事の件ですが、10年以上前は雲を掴むような話でした。今の進捗はどのぐらいなのか、分かる範囲で結構なので教えてください。	成田2期につきましては、住居系は順調にいきますと、来年の5月ごろに市街化区域に入り、その後、来年の8月ごろを目標に事業を開始する予定となっております。数年後には家の張り付きが始まる予定です。 その先の工業用地については、オーダーメイドということで、メインの企業が決まらないと、なかなか手を付けられない状況にはありますが、県とも連携しながら、企業誘致も含めて努力しているところでございます。
3	イノシシ対策について①	イノシシが農道や舗装されていないところに出没します。最近では近づいても逃げずに威嚇してきます。農作物だけではなく、人的被害が出ると大変なので対策をお願いしたいと思います。	同様のご意見は、市にも多数寄せられておりました、電気柵やワイヤーメッシュでの対策には補助制度を作っております。 今年度は、一ノ関や志戸田地区で取り組んでおりました、電気柵を設置した所にはイノシシは来なくなります。別のルートを通って入ってきます。電気柵やワイヤーメッシュの設置を進めて、みなさんに被害が及ばないようにワナの設置など、捕獲を進めておりますが、なかなか思うようにいかないのが現状です。
4	イノシシ対策について②	イノシシを直接撃つということではできないのでしょうか。大和町では職員がハンターとして、資格を取っていると聞いたのですが、富谷市ではハンターの試みというのはないのでしょうか。	ご意見については、猟友会の協力をいただいております。一番早い対処方法は捕獲ですが、免許取得というのが最大のテーマになっています。研修会や補助金などで、多くの方に資格を取っていただくよう進めていますが、こちらもなかなか思うような展開ができていません。 また、イノシシはワナにかからないと撃つてはいけないことになっており、威嚇射撃もできないことになっています。職員の中には免許を取ってやりますという者もおりますので、これからはそういうことも必要なのかなと思っています。

平成30年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月19日（金）西成田コミュニティセンター No.2

No.	項目	質問要旨	回答要旨
5	交通渋滞対策について①	人口が増えるにあたって、交通量も増えてきます。特に朝の富谷中学校付近の交通渋滞、日曜日になるとカインズホームあたりの交通渋滞、将監トンネルあたりの交通渋滞というのは、頻繁に見えてきていますが、そのあたりが全然解消されていません。人口が増えるのは良いことですが、交通渋滞の緩和についても進めてもらいたいです。給食センターの脇の道路が抜けるというの、まだ見えていないのではありませんか。	給食センター脇の穀田三ノ関線は今年から工事に着手し、3年をかけて旧4号線まで通します。併せて、中学校の前の県道も拡幅工事をして、右折レーンを中学校の正門前まで延ばし、渋滞の緩和を図ります。 成田からイオンの慢性的な渋滞については、今年の春から管制区域に入れてもらいましたので、以前のような慢性的な渋滞は解消されました。 明石台から県道に出る道路に関しては、次の造成の時に検討を行い、対策を取りたいと思います。 また、現在公共交通グランドデザインの策定を進めていますが、これは泉中央からの軌道系の交通アクセスだけではなく、交通問題すべてを検証して作成する計画ですので、一般車両、バス、軌道系を含めての計画ということになります。今後も、引き続きまちづくりと一体となった交通体系の整備を検討していきます。
6	交通渋滞対策について②	松陵の行き止まりの道路も将来的には何とかなるということでしょうか。	都市計画道路宮沢根白石線については、莫大な費用がかかるということが課題になっています。県道として、県による事業化を要望しています。
7	交通渋滞対策について③	早急に明石杉ノ入と関兵の県道のところは信号を何とかしてもらいたいのですが。	県道については、明石台から下りたところから、利府に抜ける市道までの、区間が混雑しております。対策については、県にお願いしているところですが、もう少しお時間をいただかなければいけないと思います。
8	交通渋滞対策について④	石積に入るところの入口も、安全管理上とすれば、信号をつけていただけるとありがたいです。	信号機については、警察になりますので、要望を行っていきます。
9	西成田地区の市道について	西成田地区の市道ですが、これから冬にかけて、落ち葉がかなり落ちてきます。落ち葉で車がスリップして何度か事故を起こしています。事故で怪我したりするといけませんので、木を切っただけだと思います。	所有者を確認して、市の所有であれば早急に対応します。

平成30年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月19日（金）西成田コミュニティセンター No.3

No.	項目	質問要旨	回答要旨
10	県道仙台三本木線について	<p>県道仙台三本木線の今泉地区ですが、拡幅工事をやりますと言われてから未だに手が付けられていないということは、白紙になっているのかなと思っています。現在大和町の方で橋の工事をしています。交通量がものすごく増えており、事故が起きています。</p> <p>もうひとつ、水害の問題があります。橋が小さくて水を飲み込めなく、家の付近まで水が上がってきます。水害も渋滞もあって、緊急のときに、避難のしようがないという感じです。</p> <p>それと、工事の仮の復旧ということで、鉄板を敷いていますが、その鉄板もずっと置かれたままになっています。その点も含めて、お願いします。</p>	<p>宮城県に対して、要望は継続して実施しておりますが、なかなか進んでいません。今日の水害のお話も含めて、要望させていただきまます。</p> <p>また、宮城県からは、橋の工事に着手すると聞いておりますので、もう少しお待ちいただければと思います。</p>
11	水路の改修について	<p>西成田コミュニティセンターの近くから郷田川に向かう川があります。水路という位置付けのようですが、どうすれば河川に位置付けられるのか、道筋を教えてくださいたいです。</p> <p>また、その水路の改修はどのようにしたら行ってもらえるのか教えてくださいたいです。</p>	<p>申し訳ありませんが、どのようにしたら河川に位置付けられるかについては、承知しておりません。</p> <p>改修につきましては、上流で大規模な開発が行われ、調整池の排水路として利用される場合には、改修されることになると思います。</p> <p>ただ、現在でも崩れているとのことですので、それに対しては、今後どのような対応ができるか、検討させていただきたいと思ひます。</p>
12	西成田コミュニティセンター入口の道路について	<p>西成田コミュニティセンターに入る道路についてですが、どのくらい進捗しているのか教えてくださいたい。</p>	<p>用地交渉がなかなか進まなかったのですが、今年度買収させていただいて、工事は全体の予算を見ながら、なるべく早く着工できるようにいたします。</p>
13	西成田コミュニティセンターのプールについて	<p>西成田コミュニティセンターのプールですが、夏休みには子ども達も利用しております。だいぶ古くなっていて、補修費に金がかかるということと、浄化槽が古くなってきています。できれば、このセンターと一緒に継続して運営していただければと思っています。壊れてしまうと改修費用が多額になるとも聞いておまして、難しい部分もあるかと思いますが、検討させていただきたいと思ひます。</p>	<p>維持管理を行いながら、引き続き運営していきます。</p>

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月20日(土) 東向陽台公民館 No.1

No.	項目	質問要旨	回答要旨
1	(仮称) やすらぎパークとみや整備事業について①	「(仮称) やすらぎパークとみや」整備事業についてですが、「部外工事」というお話がありました。私たち素人からすると、部外工事というのは、お金がかからないというイメージを持っていますが、そうでもないような気がいたします。ですので、部外工事についての説明とどの程度の費用がかかるものなのか、分かる範囲で教えていただきたいです。	「部外工事」というのは、行政の業務に関係するもので、不特定多数の方が利用する場合の粗造成工事を自衛隊員の訓練の一環として、お願いするものです。 基本的には燃料代や重機の輸送代、宿泊所の準備というのを自治体で負担しなければなりません、民間の事業者をお願いするよりは負担が少ないと思っております。
2	(仮称) やすらぎパークとみや整備事業について②	パークゴルフ場が当面18ホールというお話でしたが、市民のニーズとしては、36ホール以上だと思います。費用の関係もあると思いますが、将来36ホール以上に拡大する意思があるのか、お聞かせいただければと思います。	18ホールでも2ヘクタールの用地が必要となり、36ホールでは、4ヘクタールの用地が必要となります。その場合には、造成費用・整備費だけでも、かなりの額になりますし、維持費も増加します。18ホールであれば、維持管理費を利用料で賄えるという事例も確認できましたので、富谷の場合は18ホールで考えています。 大きな大会を行う場合は、近隣を利用いただき、富谷のパークゴルフ場は地元の人たちに使っていただけるようにしたいと思っております。
3	(仮称) やすらぎパークとみや整備事業について③	パークゴルフ場をオープンするにあたっては、交通アクセスを十分に検討していただきたいと思っております。	交通アクセスは、必要不可欠なことと考えています。今回の新たな計画地にすべての地域から市民バスを活用して、足を運んでもらえるように交通体系を作りたいと思っております。
4	公共交通ランドデザインについて	富谷市のまちづくりで、コアをどこにするのかというのがありますが、公共交通ランドデザインでどのように考えておられるのか、お伺いします。	人口集積の現状を無視することはできませんので、しっかりと全体のバランスを取りながら、全ての人たちが行動しやすく、高齢化も踏まえた、いかに生活しやすい環境を作るか、という全体を公共交通ランドデザインとして策定をしたいと考えております。現状をしっかりと認識したうえで、計画を作っていきたいと考えております。
5	公営墓地について	公営墓地には、市内の人たちを優先的に入れてもらえるのでしょうか。	需要予測をしている2,000基というのは、富谷市民のためのものでと考えております。 ただし、需要予測ですので、他自治体では整備した墓地が市民だけでは埋まらない場合には、市外の方に利用していただくというケースもあるようですが、現在のところ、富谷市としては、そのようなケースは想定していません。

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月20日(土) 東向陽台公民館 No.2

No.	項目	質問要旨	回答要旨
6	とみばすの運用手続について①	受付・交付の回数を月に1回にするなど、もっと増やした方が良いのではないかなと思っています。	<p>このシステムを運用することができたのは、仙台市交通局の全面的なご協力のおかげです。この事業を始めるときの仙台市との約束で、年に1度の手続きということで了解をいただいて、始まっております。繁忙期に重なりますので、4月に向けてのスタートは避けて欲しいということで、10月から翌年9月までという1つのサイクルで始めております。</p> <p>基準日を10月1日として開始できれば、使えない期間を短縮できるということは考えられますので、内部で検討させていただきます。</p> <p>また、申請手続きの場所ですが、市全体の利用者のうち、明石台、東向陽台、成田の利用者の方の割合が大きくなっております。費用はかかりますが、通信機器を活用して、お近くの公民館できないかということも検討しております。</p>
7	とみばすの運用手続について②	2回目以降のチャージについて、泉中央(仙台市地下鉄)に行くか、三ノ関(宮城交通富谷営業所)に行くかということになっていますが、これをワンストップでクリアできる方法はないのでしょうか。	<p>自動入金装置を市で導入しますと、1台あたり約600万円かかります。この費用を考えると、みなさんにはご面倒をおかけしますが、外出支援という目的にも理解をいただきながら、仙台市交通局または宮城交通での手続きに御理解いただきたいと思っております。</p>
8	受益者負担の考え方について	<p>行政改革基本方針の全面的な考え方については理解をしておりますし、そういう方向で取り組まれていることには敬意を表しています。</p> <p>受益者負担が、どのような項目で、どれぐらいのお金がどうなっているのか、ということについて、全体を一度おさえて、精査をして、受益者負担のあり方というものを切り口ごとに評価をすることによって、受益者負担の考え方が整理できるのかと思います。市民のみなさまとコンセンサスを得た上で、物事をやられていかれるということは、透明な行政という観点からも望ましいと考えます。行政改革というテーマの中では、取り上げていただくのも有意義ではないかと考えます。</p>	<p>受益者負担のあり方について、ひとつひとつ全てを全体的な考え方でやっていくのは、それぞれの成り立ちもあり、難しいと考えています。例えば、今回の検診の件では、3割負担という原則の中で他自治体とのバランスなどを要素としていくとか、「とみばす」の場合は、手数料的な考え方で1割負担とするとか、いろいろな考え方で負担をお願いしているというのが実態でございます。</p> <p>今すぐどういう形がいいかというのはお答えできませんが、市民の方々と会話をしながら、受益者負担のコンセンサスを得ていくというのは、基本的な姿勢だと思います。私どもの方で、今後の考え方の中で、どのように作っていくかというのは考えていきたいと思っております。</p>

平成30年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月20日（土）東向陽台公民館 No.3

No.	項目	質問要旨	回答要旨
9	行政改革について	<p>今後の事業展開で見直す事業が、ほとんど福祉関係のような感じがします。今後富谷市は人口が伸びていきますが、それに比例して高齢者人口も増えていきます。それと同時に生産年齢人口もたぶん伸びていくと思っています。そうした場合、各年代の人口が将来的にこのように伸びていくので、今回このぐらいの負担をお願いするのだ、ということが明示されていないので、そのあたりを検証されてうえで、自己負担額の見直しとなっているのでしょうか。</p>	<p>今回は、身近でみなさんに関係のある部分を資料に掲載させていただきました。内部では削減を図って、今年度35年ぶりに財政調整基金（市の貯金）からの繰り入れなしで予算を組んだところですが、これは内部で、ここにいる幹部職員だけではなく、担当の職員も含めて1年間かけて全ての事業を洗い直しして、見直しをしてきた経緯がありまして、見直しをせずに長期間にわたり、総額が増えている部分や他の自治体と比較してもこれは御理解いただける範囲ではないかというものを相談させていただいています。基本的には住民のみなさんに負担を伴わないように努力はしていきたいと考えておりますので、御理解をいただければと思います。</p>
10	脳検診対象年齢の引き上げについて	<p>脳ドックの支援を70歳までされていると思います。現在、脳ドックの受診者数はどのぐらいなのでしょう。</p> <p>今、人生100年時代と言われていて、この検診は70歳までです。病気が始まるのは、70歳から先だと思っています。現在の助成額にこだわりませんので、年齢を80歳、85歳に引き上げていただくことは検討いただけないのでしょうか。</p>	<p>平成29年度が464名で、平成28年度は476名です。およそ500名弱の方が受診されております。</p> <p>対象年齢につきましては、現在70歳としておりますが、県内自治体を見ても、本市の対象年齢幅は県内でもトップクラスとなっております。75歳、80歳と平均寿命が伸びている中ではありますが、対象年齢を上げると財政負担の問題も出てまいりますので、医療機関の先生方とも相談しながら、検討していきたいと考えております。</p>
11	市政懇談会のあり方について	<p>このような市政懇談会は非常に大切なことだと思います。今日で3回目ですが、人数を聞くと、行政区長さんとあと何人かくらいということ。関心を持っている方が多くいらっしゃると思いますので、各行政区から5人なり10人なり、声かけをして、なるべく多くの市民に参加してもらえると嬉しく思いますけど、いかがお考えでしょうか。</p>	<p>今回もいろいろな機会、市政懇談会の開催について、お話をさせていただきましたが、結果的にはなかなかご参加いただけておりません。</p> <p>今年の反省を踏まえて、来年は、もう少しみなさんの参加をいただいたうえで懇談会にしていきたいと考えておりますので、反省点として次年度に繋げたいと思います。</p>
12	市役所の対応について	<p>今年の2月から町内会をお願いしていたことが、市の担当課に伝わってなかった、ということがありました。最近も同様のケースがありました。</p> <p>どこの課でも起きる可能性があることだと思いますので、職員を育てていただいて、大事なことに気をつけてもらえればと思います。</p>	<p>只今いただいたご意見には、お詫びを申し上げるしかございません。申し訳ございませんでした。</p> <p>私は常に、全ての職員に対して、住民の方々から相談なり、何かあったら、すぐに対応するように、そして、現場を確認して、時間がかかることは事情を説明するという徹底してきたつもりです。改めてお詫びを申し上げ、内部で確認・徹底していきたいと思っております。</p>

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月23日(火) 富ヶ丘公民館 No.1

No.	項目	質問要旨	回答要旨
1	交通網の整備について	図書館が平成33年度開館とされていますが、富谷の全体を考えると、子どもがそのような公共施設に行けない状態にあります。現在は親が連れて行くという状態ですので、平成33年度までの交通網の整備が必要かと思えます。車で行くなら、県立図書館もあります。箱物を作れば当然お金がかかります。交通網の整備を早くやっていただかないと、何のために建てたのか分からなくなるような気がします。	交通網については、公共交通グランドデザインを策定して、その問題をしっかりと検討しているところです。 また、図書館は、誰もが移動しやすい環境を作るとというのが、今回の市民図書館に対するひとつの課題なので、しっかりと計画に盛り込んでいきたいと考えております。
2	総合診療所の整備について	総合診療所を地域行政でなんとかしてもらわなければならないと思っています。	医療の問題については、市民の皆さまの要望が高くなっています。しかしながら、本市は仙台医療圏の枠組みに入っていて、新たに病院を作るのが難しい状況にあります。総合病院となると、なおさら難しく、既存の病院を誘致しなくてはならない状況です。重要な課題として認識しておりますし、実際にアクションも起こしているところでございますが、現状は、なかなか難しい問題です。
3	道路整備について	側溝の蓋かけが富ヶ丘南部ではだいぶ進んでいました。その時は希望がありました。今は道路の状態はひどいものです。確かに予算もあると思いますが、我々が必要なのは、この地区はいつごろやりますよ、というハッキリした計画ですので、それをお示しいただければと思います。	側溝整備や道路整備を進めていく際には、毎年、行政区長様と、整備する路線をご相談させていただいています。行政が一方的に補修箇所を選定するのではなく、みなさまとご相談させていただき、ご意見をいただきながら施工箇所を選定し、計画的に進めていきたいと考えています。
4	町内会の運営等について	町内会の解散ができるかどうかをお聞きしたいと思います。そうなった場合には、これまでの町内会活動はどのようになるのか、ということも併せてお聞きします。 また、行政が期待するところの最小限の町内会活動は、何をすれば良いのかということもお聞きしたいです。	町内会が解散できるか、というご質問ですが、行政側としましては、設立や解散につきましては、町内会の判断になるという見解を申し上げさせていただきます。 また、町内会は何をやればいいのか、ということにつきましても、行政側としては、一律的に申し上げることはできません。基本的にはコミュニティの基礎組織という中で、親睦・融和を中心に、ご活動をいただきたいと考えております。 町内会の運営については、本当にご苦労いただいているのは、我々も認識しております。こちらからお願いしていることもあり、心苦しいところもありますが、やりやすい、負担のない行事の組み方も含めて検討いただければと思います。

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10 月 23 日 (火) 富ヶ丘公民館 No.2

No.	項目	質問要旨	回答要旨
5	ボランティアポイント制度について	町内会の活動という中で、自主運営というのがこれから大切だと思っていますので、その一環として、1年前に「ボランティアによるボランティアのポイント制度」というのを提言させていただきました。これは元気な高齢者が高齢者を支えるだけでなく、若い人も参加できるようなポイント制度というものでしたが、その後どのようになったのかお聞きします。	市社会福祉協議会で地域福祉活動計画を策定しました。計画の中で、有償ボランティアとの関係とボランティアポイント制度のあり方について、検討を進めますとしておりますので、もう少しお時間をいただければと思っております。
6	街路灯のLED化について	防犯灯はLEDになり、明るくなりました。逆に、街路灯は暗く、水銀灯で故障もありますので、今はLVD（無電力ランプ）などに交換して明るくできないか、お聞きします。	市では防犯灯のLED化と併せて、街路灯のLED化も進めております。この街路灯のLED化の優先順位としましては、製造が終了しているランプを使用しているところから進め、次に、消費電力の大きい街路灯としています。今後、LED化を進めていく中で、富ヶ丘地区も、しっかりと対応していきたいと考えております。
7	ゴミ分別ポスターの配布について	ゴミ資源カレンダーということで、昨年全戸配布になりましたが、今年はありませんでした。以前は大きなポスター大のものがありまして、これが非常に分かりやすかったです。こういうものが年1回、全戸配布できないかお聞きします。	ごみの分別表については、お配りしているものは保存版としており、基本的には、分別の仕方が変わった時に更新をいたします。厚めの資料であり、毎年全戸配布となると費用もかかるため、現在の形態となっています。 ポスターは、大きくて見やすいという意見の一方で、どこに貼ればいいのかという相談や、裏面にも印刷されているため、固定できないということもありました。費用の関係もあり、2種類の配布というのは即答できませんので、今後検討させていただきたいと思えます。
8	乗合タクシーについて	交通体系に関することで、乗合タクシーの件です。いろいろな自治体で話題になっております。泉中央からの最終バスがなくなり、非常に困っております。泉中央から数人で自宅の方向に行けるような仕組みでできないだろうか、決して難しくないと思うので、ぜひ強力に推進をお願いしたいと思います。	泉中央駅からは、現在はバス路線が整備されております。基本的には、バス事業者に対して深夜便の復活をお願いしています。相手方にも運転手が確保できないという事情もありますが、その確保に努めていただいております。 それと並行して、泉中央駅からの乗合タクシーとなると、かなり幅広い地域が対象となりますので、本市でこのシステムが上手く構築できるのか、今後勉強させていただきたいと思えます。

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10 月 23 日（火）富ヶ丘公民館 No.3

No.	項目	質問要旨	回答要旨
9	市民バスの増便について	市民バスをよく利用していて、イオンまで行き、乗継券を利用して泉中央まで行きます。うちの地区は、非常に効率が良いので、地区内の市民バスを増設していただければ、もっと利用が増えると思っています。イオンから出るバスは結構ありますが、逆に市民バスがあまりないので、市民バスを増設していただいて、病院だけではなく、遊びに出られるようになるとういかなと思います。	現在市民バスの年間運営経費にかなりの額を投資しています。その中で増便となりますと、財政との兼ね合いがありますので、ここでは即答できかねます。ご意見としてお受けいたします。
10	公園への東屋設置について	みんなの広場に東屋を建てていただきたいです。	東屋の設置については、他の地域でも要望をいただいておりますが、なかなか進んでおりません。今後検討させていただきます。
11	市有バスの利用について	市有バスを老人会に開放してもらえないでしょうか。	市が保有しているバスは、1台となっており、稼動も多い状態ですので、お貸しする場合には、各町内会で1回とさせていただきます。バスが複数台あって、運転手が確保できれば、ご質問の対応も可能かと思いますが、今回は要望としていただき、今後の課題として検討させていただきます。
12	市民協働と参加について	<p>市民が参加をしていくということが、まちづくりの基本原則ではないかと思います。参加するために必要なのは、情報の共有です。情報の共有というのは、市民のみなさんが役所の仕事が現状どうなっているのか、課題がどうなっているのか、ということが分かるということです。分かるために何が必要かということ、今日のような懇談会や他の自治体でやっている出前講座です。対話のチャンネルの数が多ければ多いほど、住民の分かる度合いが進みます。事務事業の見直しに住民が参加するということも大事かなと思います。</p> <p>これらを実行するためには、まちづくりの基本となるルールが必要です。このあたりをもう少し踏み込んで、大胆にやっていくということを要望したいと思います。</p>	<p>市民協働・参画の推進については、昨日も市役所で181人の職員と議員さんの参加のもと、市民協働の研修会を開催し、しっかりと進めているところでございます。行政改革懇談会には、一般の方も参加いただいて、方針等を策定したところです。ご指摘の件は理解しておりますので、さらに努力をしていきたいと思っております。</p> <p>ルールづくりにつきましても、内部で検討しております。大変大きな作業で、慎重にやらなければいけないことですので、他の自治体の事例も含めて検討し、進めていきたいと思っております。</p>

平成 30 年度 とみや市政懇談会 質問・回答要旨

10月23日(火) 富ヶ丘公民館 No.4

No.	項目	質問要旨	回答要旨
9	富ヶ丘公民館大ホールの 暗幕電動化について	約1年前に、地域サークルの要望として、ハードフロアをもつと身体に優しいフロアにして欲しいということと、暗幕の電動化をお願いしました。フロアはおかげさまで改修していただきまして、サークルの会員はみんな喜んでいました。ただ、電動の暗幕は、職員が対応するという回答をいただいたと認識しておりますが、土日や夜に使用する場合、現実的には無理です。サークルの参加者がみんな70代を超えており、脚立を利用して暗幕を閉めるというのが、非常に危険ですので、このあたりはお願いしたいなと思います。	フロアの件につきましては、ありがとうございます。 暗幕の電動化につきましては、もう一度内部で確認をしまして、検討させていただきたいと思います。
10	公園の休憩施設について	公園というのは、子どもだけではなく、緑豊かで、高齢者も屋外でも集うことができるということが素晴らしいのだと思います。剪定などの自分たちができることは取り組んでおりますが、高齢者にとっては、公園にイスやテーブルがあって、お茶を飲んだり、弁当を食べたりできる休める場所があるといいなと感じています。	公園樹木の剪定も含めて、みなさまで公園を大事にいただき、ありがとうございます。子どもも高齢者のみなさんもゆっくり休めるような場をというご意見ですので、今後検討させていただきたいと思います。
11	ごみ集積所の補助金申請 について	ごみ集積所について、町内会で予算を計上して、総会で決議を取って、事業を進めていきますが、いざとなると、基数を減らしてくれないかと話が出てきます。 10月の段階で申請をしていますので、申請した数ができないのであれば、できないと言ってもらえれば、町内会の予算計上の段階で減額しますので、そういった対応がなぜ取れないのかお聞きしたいです。	ごみ集積所の改修・新設につきましては、町内会からの申請によって、補助金を交付しております。 いろいろな町内会から補助要望をいただいて、それを集約し、それを次年度の予算に限りなく反映したいという思いはありますが、全体予算の中である程度の上限が出てきますので、取りまとめた結果、基数を調整できないかとお話をさせていただいた経過がございます。お話のとおり、説明不足の点もありましたので、今後気をつけていきたいと思っております。